

# NRU-east

## National Railway Workers' Union

No.867 2025年  
9月12日

国鉄労働組合東日本本部  
港区新橋5-15-5 交通ビル7F  
発行責任者 伊藤 隆夫  
編集責任者 常盤 達雄

声かけて  
仲間とTUNAG  
拡大へ

国労  
東日本

# 第39回定期大会開催!

## 2地本体制で運動の躍進と 組織強化を進めよう!

国労東日本本部は、8月24日に第39回定期大会を東京・新橋交通ビルにおいて開催しました。今大会は、組織・運動を次世代に繋ぐための組織整備が7月にされ、2地本体制が発足し初めての大会となりました。

今号は、大会特集号「その1」として報告します。



議長 首都圏・小泉代議員  
副議長 首都圏・松本(康)代議員

大会は渡辺副委員長の開会あいさつではじまり、議長に小泉慶起代議員(首都圏・水戸)、副議長に松本康平代議員(首都圏・大宮)が選出され、議事に入りました。

スト裁判、参議院議員選挙と政治情勢などの報告をされ、国労本部・宮崎委員長からは、組織強化拡大やTUNAGを使った情報伝達などにふれたあいさつを受けました。

経過報告・方針提案・財政報告・予算案提案がおこなわれ、昼食休憩を挟んで経過・方針一括で11名の代議員から発言を受けました。

発言では組織拡大・ローカル線問題・安全への取り組み・要員不足・26春闘・職場代表者選挙・機関整備など様々な意見が出されました。こうした意見をJR東日本への申し入れに活用していきます。

その後、役員改選と新役員あいさつ、スト権一票投票でスト権が確立され、最後に、伊藤委員長長の団結がんばろうで大会を終了しました。



## 安全とサービスの低下は許さない!



委員長挨拶 要旨  
(全文はHPに掲載)

第39回定期大会の開催にあたり、執行委員会を代表し挨拶を申し上げます。

1点目は、JR東日本が進める施策と、安全・安定輸送を求める取り組みについてです。JR東日本は今年5月「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方」を発表しました。

組織改正では、本部・支社をなくして、本社の下に36の事業本部を設置し、「非現業」と「現業」の「当たり前」を超えて、地域密着の事業運営に移行するとしています。

同時に、新たな人事・賃金制度を提案。これまでの基本給を、成果主義・能力主義が色濃く反映された「職務能力給」に改めるとしています。私たちが求めてきた労働時間の短縮や定年延長、第二基本給の廃止などの改善がみられるものの、大きな問題点を抱えるものとなっています。

また、グループ会社の待遇改善の記載はなく、グループ社員の待遇改善を求めている点についてはなりません。これらの課題解決に向け、8月19日には、第1回交渉が開催されました。

引き続き、諸課題の改善を求めてまいります。現在、グループ会社・協力会社の制度実態を把握し、労働条件改善に向けた出向社員アンケートを取り組んでいます。引き続きのご協力を要請します。

さらに、7月1日には新たなグループ経営ビジョン「勇翔2034」が発表されました。達成に向けてはさらなるコストの削減も想定され、ワマン運転から自動運転化に向けた動き、AIを活用したチケットの販売、システム・サービスを超えた「融合と連携」が進むものと推測されます。

聖域なきコスト削減の一方で増大する相次ぐ事故、輪軸組み立て作業におけるデータ問

題や、委託事業及び補助金事業に関する不正請求など、企業の信頼、グループのガバナンスが問われています。国労東日本は「安全とサービスの低下は許さない」立場でJR東日本に問題提起をしていきます。

2点目は組織問題についてです。9地方本部体制から2地方本部体制へ移行後初めての大会となりました。組織のコンパクト化に向けた第一歩です。国鉄世代がJR世代に責任を持ち、過度な負担をさせることなく組織を引き継ぐために、組織の「選択と集中」の観点から運動を進めていきます。

当面、東日本本部としては、点在するJR世代組合員のつながり強化の観点からJR東日本所属、JR貨物所属、JES S所属の組合員ごとに勉強会・交流会を計画しています。自分の周りにいる仲間が何に悩み、不満を持っているか話してみる。一緒に参加してみる。一人ひとりのJR世代の組合員が労働運動を体現する中から労働組合の必要性を再確認することが重要です。

3点目は、平和と民主主義を守る取り組みについてです。第27回参議院選挙で、自民党・公明党の惨敗により参議院においても少数与党となりました。しかし、自・公、国民民主、維新の会などの「改憲勢力」では3分の2を超える状況に変わりありません。また排外主義・極右的潮流の参政党が議席を獲得。ある映画監督は「『日本人ファースト』が響いた人々の生活はおそらく苦しい」と分析をしています。

戦後80年目となる今年の広島平和式典で湯崎知事は「核抑止論」に対し「『相手が核兵器を持っていないから、我々も持たなくてはならない』という考えはまさにフィクションである」と警鐘を鳴らし、核兵器廃絶を訴えました。「武力で平和は作れない」「平和学習」を引き続き積み重ねていきましょう。

この他にも物価高騰での継続した賃上げを求める26春闘の取り組みや、地方ローカル線の問題など、重要な課題が山積しています。繰り返してまいります。今大会は、新たな機関整備のスタートとなる節目の大会であります。代議員各位の真摯な討論を要請し挨拶とします。



# 新執行部 よろしくお願ひします

- 【執行委員長】 伊藤 隆夫 【再】
- 【執行副委員長】 渡辺 信之 【再】
- 【書記長】 中村 賢太郎 【新】
- 【執行委員】 武田 幸喜 【再】
- 常盤 達雄 【再】
- 中谷 慎一 【再】
- 木村 洋希 【新】
- 飯田 智士 【新】
- 竹内 康裕 【新】
- 【会計監査員】 飯島 英樹 【再】
- 矢部 雄一 【再】

彦田 貴弘  
執行副委員長



2017年・第31回定期大会から執行委員を3期6年、2023年・第37回定期大会から執行副委員長を1期2年務めました。

退任役員  
ごきょううさまでした

木村 洋希  
執行委員



中村 健太郎  
執行副委員長



和賀 聖司  
執行委員



2021年・第35回定期大会から執行委員を2期4年務めました。

竹内 康裕  
執行委員



飯田 智士  
執行委員



**第26回マラソン大会**  
 主催：東日本本部・首都圏地方本部  
**11/22 皇居1周の部・2周の部**  
 詳しくは各地方・地区本部へ

- 東日本本部委員 定数10名
- 首都圏地本
    - 宮川 隆司
    - 長田 峻輔
    - 松本 康平
    - 坂本 和彦
    - 松本 善伸
    - 小泉 慶起
    - 丸山 健二
  - 東北地本
    - 石田 春夫
    - 宮崎 和孝
    - 畠山 満

がん保険の枠を超え、一人ひとりに最適な安心を  
 保障と相談サポートで  
**あなたによりそう がん保険 ミライト**  
**No.1** アフラック がん保険 契約件数  
※社の総合損害などに基づくアフラック調べ(2024年3月時点)

アフラック がん保険 契約件数  
※社の総合損害などに基づくアフラック調べ(2024年3月時点)

アフラック がん保険 契約件数  
※社の総合損害などに基づくアフラック調べ(2024年3月時点)

**ありがとうございました**

**ご来賓**

- 【国労本部】 宮崎 浩則 委員長
- 【東日本本部顧問弁護団】 海渡 雄一 弁護士 福田 護 弁護士
- 【国労会館】 佐藤 正幸 専務理事
- 【アベニール株式会社】 菊池 忠志 専務

**メッセージ**

関東交運労協 J R東日本労働組合 JESS-U